

ボッチャのルール

2025.9. 栄区シニアクラブ連合会スポーツ部会

NO	状況		処置
1	スタート	ボールの配置	左・・・赤 右・・・青
		順番	ジャンケンで勝った方が、先攻か後攻を選ぶ。
		先行	赤
		2ゲーム目の先攻	青
2	ボールの投球	①	先行の赤チームがジャックボール（白）を投げる。
		②	ジャックボールを投げた人が赤ボールを投げる。
		③	後攻の青チームが青ボールを投げる。
		④	ジャックボールに遠いチームがボールを投げる。
		⑤	以後ジャックボールに遠いチームがボールを投げる。
		⑥	両チームが6球ずつ（一人2球）投げ終わったらエンドの終了となる。
		⑦	ジャックボールに近いチームのボール数が得点となる。
		⑧	2エンド目は青が先行となり同様に行う。
		投球の順番	誰が投球してもよい（投球順は決められていない）
		コート上での動き	審判が青サイドに投球指示を出した後は、赤サイドはボールを持ち上げてはならない。相手サイドの持ち時間にボールを丸めたりなどの投球準備をしてはならない。
3	最初に投げたジャックボールが「コート外」に出た時		相手方にジャックボールを投げる権利が移る。相手方も外に出した場合はもとに戻る。ジャックボールが正常な位置になるまで交互に繰り返す
4	ジャックボールが外に弾き出されたとき		ジャックボールをクロスに置く
			すでにクロスに位置にボールがある場合は、ジャックボールはできる限りクロスに近く、かつクロスの前側に、両サイドラインから等距離になるように置く
			ジャックボールがクロス上に置き直された場合、次に投げるのはジャックボールに遠いチームである。プレイングエリア内にカラーボールが一つもない場合はジャックをはじき出した方が次に投げる
5	コートから出たカラーボール		全てのボールは、 外枠線に触れたり外枠線を越えたり した場合はコート外に出たものとみなされる。
			外枠線に触れた、もしくは外枠線を通してからプレイングエリア内に戻ったボールは、コートの外に出たとみなされる。
			投げたり、弾かれたりして外枠線を越えたカラーボールは全てデッドボールとなり、指定された場所に置かれる。
			1球目のカラーボールがアウトになった場合、そのサイドはボールがプレイングエリア内に停止するか、すべてのボールを投球し終えるまで投球する。誰が2球目以降を投球してもよい。
6	等距離のボールの扱い		異なる色のカラーボールがジャックボールから等距離にあり、さらに両サイド同得点（1:1、2:2など）という状態の場合、最後に投球したサイドが次に投球する。その後、同得点かつ等距離の状態が崩れるか、片方のサイドがすべてのボールを投げ切るまで、交互に投球する。得点ボールが等距離にあるが同点ではない場合（2:1など）、得点となるボールの数が少ないサイドが投球する。その後は通常通り進められる。
7	投球者がスローイングボックスから出たり線を踏んだ時		デッドボールとなりボールをコート外に出す。投球後も線を踏んだりスローイングボックスから出てはいけない。ペナルティとなる。
8	延長戦	順番	先攻、後攻をジャンケンで決める
		先行	赤
		後攻	青
		ジャックボール	クロスに置く
		勝敗	代表者による一球勝負。ジャックボールに近い方が勝ちとなる。

日本ボッチャ協会及び横浜市スポーツ協会規則に準拠